

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.3-30)

件名	溶解槽におけるハルの排出不良						
事象の概要	<p>(1) 発生場所・機器 前処理建屋:溶解槽</p> <p>(2) 発生の状況 溶解槽の運転中</p> <p>(3) 概要 燃料集合体を構成するスプリングがせん断されずに溶解槽に装荷された際、溶解バケット内でスプリングが引っかかることによるハルの排出不良</p>						
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋せん断処理・溶解槽ガス処理設備及び換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 溶解槽のハル排出不良を溶解槽のトルク高警報等により確認し、せん断を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 引っかったスプリング、ハルの除去は、セル外からの遠隔作業なので作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 下流の工程の運転に影響が生じる。 せん断が停止することにより、前処理建屋内のせん断機、溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、その中間にある一時的な貯留槽(計量後中間槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>						
対応の概要	<p>(1) せん断機、溶解槽を停止したのち、ホイールの逆回転・回転を繰り返す、ハルを排出する。</p> <p>(2) ホイール回転中のトルクによりバケットが空になったことを確認し、定められた操作手順に従って、運転を再開する。</p>						
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)						
対応区分	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;"> 国際評価尺度 (INES)のレベル 0 以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない) </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table> <p>日本原燃による評価: レベル0以下 <small>放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時・保守時からの逸脱等 多重防護の劣化</small></p>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 0 以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 0 以下 1 2 3 4 5 6 7 (レベル2以下は工場外への影響はない)						
(b) 運転システムを切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

